

会 議 録

会議の名称	令和8年度 第1回笠間市男女共同参画審議会			
開催日時	令和8年9月29日（火） 午後1時30分～3時30分			
開催場所	笠間市役所2階 庁議室	事務局	総務部総務課	
会議の公開	■ 公開 □ 非公開 □ 一部公開 ＜非公開・一部公開とした場合の理由＞		傍聴者数	なし
出席者	委 員：中嶋委員（会長）、田口委員（副会長）、畠山委員、作間委員、天賀谷委員、仲田委員、佐久間委員、下山田委員、上原委員、顧委員、平山委員 事務局：甘利課長、池田課長補佐、千葉主査、斎藤（記録者）			
議 題	(1) 令和7年度男女共同参画推進事業の実績について 令和7年度重点的に推進した事業の実績について (2) 令和8年度男女共同参画推進事業の進捗について (3) 令和9年度男女共同参画推進事業の計画（案）について (4) 審議会等における女性委員の参画率について			
議 事 （審議経過及び発言内容）				
1 開会 2 市長あいさつ 3 委員自己紹介 4 会長・副会長の選任 5 協議事項 (1) 令和7年度男女共同参画推進事業の実績について 令和7年度重点的に推進した事業の実績について 会 長 事務局から説明をしてください。 事務局 (資料に基づき説明) 会 長 令和7年度の実績で気になる点についてご質問、ご意見をいただければと思います。 委 員 資料1の4ページの事業名25について、防災分野での男女強度参画の視点の導入ということで、女性に配慮した拠点避難所の運営を行っていたり、女性職員の意見を参考に、災害用の備品等を整備されたということだったのですけれども、つくば市の会社で人目を気にせず授乳することができるTシャツがあるということで、笠間市においてもこのような備品の整備を進めていただけたらいかかでしょうか。 事務局 次年度に向けての意見ということでいただきたいと思います。また、担当課にも共有していきます。 会 長 性別関係なく安全に避難できるような環境を笠間市で進めていただければと思います。				

	(2) 令和8年度男女共同参画推進事業の進捗について
	(3) 令和9年度男女共同参画推進事業の計画(案)について
	(4) 審議会等における女性委員の参画率について
会 長	(2) から (4) について事務局から説明をしてください。
事務局	(資料に基づき説明)
会 長	意見や質問はありますか。
委 員	資料3において、事業内容はどのように選定されていますか。
事務局	第4次笠間市男女共同参画計画の内容に基づき、選定しています。また、主な事業として担当課(総務課)が取り組んでいる事業について抜粋して記載しています。他課の事業については、資料1を参照していただければと思います。
委 員	資料3において、事業により予算の有無について教えてください。
事務局	予算について空欄になっている箇所については、予算がなくとも意識づくり等できることを進めさせていただいています。予算がついている部分については、講座開催のための委託料となっています。
委 員	事業を行い、どのような実績(実際の声など)がありますか。
事務局	事業終了後にSNSにて周知を行っております。また、ユニバーサルマナーアカデミックプログラムでは講座終了後に生徒に対してアンケートをとっております。なお、アンケート結果はボリュームがありますので、全てを公開していませんが、実際にこのような声がありましたなどを抜粋してSNS等で広報しています。
委 員	資料5において、第4次笠間市男女共同参画計画の目標の中で、女性委員のいない審議会等の解消が掲げられていると思いますが、解消というより、女性に興味を持っていたり参加していただけるよう、積極的に進めていくことが良いのではないかと思います。
事務局	いただいた意見を次期計画に反映させていただければと思います。
委 員	資料1の5ページの33番の「子育て支援の充実」について、現在、産後ケアやファミリーサポートなどが支援内容としてあると思うんですけども、実際に利用してみようとしたもののいまいち使い勝手が悪いと感じています。
	産後ケアですと9時から4時まで産後ケアの場所に滞在して、少し体を休めて家に帰るという形なのですが、そうすると家のことが進まなくなります。そういった産後ケアやファミリーサポートで助かる方もたくさんいるとは思いますが、その他にもベビーシッターの助成ですとか、家事代行サービスの助成などを検討していただけると、働く女性に対しては助かる部分が大きいですと思います。
事務局	担当課にそういった意見があった旨をお伝えさせていただきます。
委 員	資料1の5ページの34番、「介護サービスの充実」について、笠間市内に128事業所があり、介護サービスを使われている方も大勢いらっしゃるんですけど、ご家族からしたら大変助かっている部分もあるんじゃないかと思いますが、まず介護サービスを使用しなくてはいけない状態にならないように、その前段階として介護予防教室などが大事だと考えています。笠間市のホームページなどを見させていただいたら、介護予防教室などを行っていたり、地域包括支援センターがその役割を担っているというふうに記載があったのですが、実際に一般の人がそういった情報を知らない人もいると思うので、地域包括支援センターが行っている情報を様々な媒体で市民に周知していただけると、もしかしたらそれをきっかけに相談する方も増えて、介護状態になる人を少し減らすことができるのではないかと思います。
事務局	こちらも担当の方にお伝えさせていただきます。担当の方でも周知活動はしているところかと思うのですが、よりそういった声がありましたということでお伝えさせていただきます。
委 員	資料3のユニバーサルデザインの意識醸成とありますけれども、内容はどのようなものなのですか。

事務局	以前は、成人対象にユニバーサルデザイン検定という事業を行っており、受講・検定・認証するまでがセットになった内容でした。現在では若い世代からの啓発を進めていければということで、中学生向けにユニバーサルデザイン検定と同じような内容の講座を実施しております。
委 員	ユニバーサルデザイン検定の受講はできるんですか。
事務局	検定については有料となり、個人それぞれの受講という形になります。
委 員	資格になるのであれば取らせてあげたいのいいのかなと思います。
委 員	この事業は市としての投資という意味でよろしいですか。
事務局	はい。若者への投資という意味はあるかと思います。
委 員	それでしたらプログラムが終了した後、どのような効果があったのかを検討した上で事業を展開していただきたいです。
事務局	ご意見ありがとうございます。
会 長	以前、高校で同じような講座が行われていたのを見に行ったことがあるのですが、学生さんがキラキラしていたので、そういった取り組みは続けていただきたいです。その中で事業の効果についても検証していただきたいです。
委 員	資料1の3ページの6番、「男性の育児等参画促進講座の開催」について、こういった事業になりますか。
事務局	こちらについては多様な生き方・働き方促進事業の講座で、以前男性の育児参画促進講座を実施していた。しかし、参加者が一桁ぐらいの規模ということもあり、毎年限られた予算の中でたくさんの方が参加していただけるように考えたところ、男性の育児参画に限らず、年度ごとにテーマを変えて実施しています。市役所では育児休暇の取得率が上がってるのですが、男性の育児参画促進につながるような講座を考えるとなかなか難しいため、現在は開催に至っていない状況にあります。
委 員	市民へのアンケートなどで講座に参加しやすい時間帯の調査を行ってはいかがでしょうか。
事務局	ご意見ありがとうございます。意識調査で取り込んでいきたいと思います。
会 長	実際に働きながら参加するとなると難しい部分もありますので、そういった声を聞くということは重要だと思います。
委 員	資料1の5ページの35番、「放課後児童クラブ事業の実施」について、令和7年度5月時点で利用率が96.6%となってるんですけども、実際は中々入れないという声を聞くのですが、実情はどのようになっていますか。
事務局	担当課が他課になりますので、確認し後日回答いたします。
委 員	回覧板が回っていない方には中々市の情報が入ってこない現状です。受け取り側に伝わりやすいように意識調査を行っていくべきではないでしょうか。
事務局	意識調査については具体的に内容は決まっていません。意識調査では、住民基本台帳のある方を無作為に抽出をして、その方に質問内容を書いた印刷物を返信用封筒と共に送って返してもらうのが、従来の方法になります。しかし、次第に調査の回答率が低くなってきているため、次回の調査はオンライン調査など広く市民の方から回答できるような方法を模索しています。
委 員	学生に対しては、時間をとりアンケートを実施すれば、ある程度回答をとれるのではないのでしょうか。
事務局	ご意見ありがとうございます。
委 員	資料1の5ページの「企業等への啓発・情報提供」について、以前は女性創業支援金という助成金があったのですが、現在も行われていますか。
事務局	担当課ではないので詳細についてはお伝え出来ませんが、今年度からなくなったと聞いています。なお、男女問わない起業支援については継続して行っています。
委 員	男女共同とダイバーシティの違いが分かりにくいと感じています。
事務局	男女共同参画という言葉は法令に則るものとして使用しています。市としてはより広い意味でダイバーシティとして、男女共同参画計画についても「きらりかさまプラン」という言葉を使い、策定しています。

委 員	災害が非常に多くなっていますので、災害時の女性や外国人などへの対応を引き続き行っていただきたいです。また、女性を守るための避難シェルターとして、男女共同参画センターの整備についても検討していただきたいです。
事務局	「男女共同参画センター」という名称にかかわらず、相談事業、情報提供、他との連携などの機能を備えるよう進めていきます。
4	その他
5	閉会